

あの人この人

交通安全協会員として活躍



南雲又夫さん（高花台一丁目）

南雲さんは、勢多郡赤城村持柏木（現渋川市赤城町）の出身です。

7年間、前橋の鮮魚店で修行をし、昭和40年に芳賀郵便局（現高花台郵便局）の南側に鮮魚店を開店させました。昭和50年に区画整理事業のため、現在の高花台に移転して、奥さんとお二人で支え合って店を切り盛りしてきました。

交通安全協会員には、いつ頃になられたのかとお聞きしたら「東京オリンピックの前の年だから昭和38年だよ」と、協会から頂いた五輪マークの刻印がしてある記念品を見せて頂きました。それ以来、長年にわたって交通安全運動に取り組み、高花台団地ができてからも約40年間

ずっと地域に貢献してきました。

現在も、イベント時の交通整理をはじめ、年4回の交通安全週間では、芳賀小学校前で登校する子供たちの安全誘導（毎月1日の県民交通安全の日も誘導）を行うとともに、広報車による運転者や地域に対する交通安全の啓蒙推進活動もされています。

趣味も多才な方で、若い時は盆栽もやり、特にサツキでは賞を貰った事もあるそうです。

また、子供の頃から歌が好きでしたので、カラオケに熱中し、店舗だった広いスペースに広接セツトを置き、大型スクリーンのカラオケセツトを配置して楽しんでいきます。歌は北島三郎さんの曲が好きとのこと。カラオケ大会で優勝したトロフィーが多数あるのでお聞きすると「いやー、お金をうんと使った証拠だよ。・・」と照れながら答えていました。最近は、グラウンドゴルフとマレットゴルフ（マレットの語源である木槌を使ってホールにカップインさせる日本で生まれた競技）に凝っているそうです。

南雲さんは80歳を超えたことですが、年齢を感じさせないほど若々しくて元気です。これからも趣味に、また、地域の交通安全活動に頑張ってもらいたいと思いました。

文責・高花台一丁目生涯学習奨励員

鈴木 一

前橋市立図書館芳賀分館だより

あたらしく入った本の紹介

一般書

- 最後まで、あるがまま行く 日野原 重明 著
- 凶犬の眼 柚月 裕子 著
- 魔力の胎動 東野 圭吾 著
- 震える教室 近藤 史恵 著
- 小萩のかんざし（いとま申して）北村 薫 著
- オリンピックへ行こう！ 真保 裕一 著
- 泣きかたをわすれていた 落合 恵子 著
- ふたりみち 山本 幸久 著

児童書・絵本

- 日本史探偵コナン 1巻〜12巻
- まんがくらべる図鑑 生きもの編
- ちいさなプリンセスソフィア キャラクター大ずかん
- だんごむしのおうち
- おしりたんてい あやうしたんてい いじむしよ
- 魔法医トリシアの冒険カルテ 5

くほかにもたくさん新刊が入りました！
★6月4日（月）は全館休館です。

◆市立図書館、こども図書館、各分館で所蔵する本やCD等は、どこの館でも借りたり返したりすることが出来ます。

◆各分館に利用者開放端末機（OPAC）が設置されております。本館・分館・こども図書館の所蔵資料の検索などが出来ます。是非ご利用ください。